

令和8年度 第26回 全国中学生創造ものづくり教育フェア 群馬県大会 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール実施要項

1 趣旨・目的

- ・「ものづくり」の発表を通して、知識や技能を習得し、活用することにより、ものをつくることや活用することの喜びを味わう機会とする。(同じ作品をアイデアバッグ部門と生徒作品コンクールの両方にエントリーすることはできない)
- ・技術・家庭科で習得した知識や技能を生かした被服作品等の設計、製作を通して、ものをつくる喜びや仲間と協議する喜びを味わう機会とする。また、発表の場を通して、他校生徒との交流を図り、合わせて知識や技能の向上を図る機会とする。
- ・自分や家族の生活をより豊かにするために、個性や工夫を生かした製作の目的を明確にすることにより、製作や活用の喜びを味わう機会とする。
- ・製作を通して、ものを大切にする心や成就感、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感する機会とする。

2 期 日 令和8年10月28日（水）

3 審査会場 沼田市立沼田西中学校 〒378-0031 群馬県沼田市薄根町3580番地 TEL .0278-22-3055

4 参加条件 群馬県内の中学生で、校長が参加を認めた者

5 競技の課題及び課題製作上の注意点について

(1) 競技の課題について

『バッグ(ショルダーバッグ、トートバッグ、リュックサックなど)』とする。

(2) 使用する布について

- ・バッグ本体の全部または一部に、家庭にある自分または家族の衣服を用いる。その他、衣服以外の布などを加えてもよい。

(3) デザイン及び機能について

- ・衣服の一部をそのままの形で1つ以上活用する。(例:ポケットの形状やボタンをそのまま利用する など)
- ・『バッグ』の口を閉じられるようにして、中身が出ない工夫をする。

(4) 縫製について

- ・入れるものに必要な強度が保たれるように、布目の方向や縫い目の大きさ及び縫い代の始末の仕方などを工夫する。
- ・バッグのいずれかの部分にまつり縫いを取り入れる。
- ・スナップは、必ず1つ以上付ける。

(5) レポートについて

- ・レポートには、「テーマ」、「構想」、「自分や家族の生活を豊かにする視点」、「私にとってのものづくりの視点」と「衣服の再利用の工夫(どの部分をどのように 活用するか)」その理由を明記すること。また、まつり縫い・スナップを取り入れた部分を明記すること(朱書きする)。
- ・解体前の全体像を、写真またはイラストで表す。

(6) 作成全般について

- ・生成AIによる生成物を自己の成果物として応募・提出しないこと。

6 競技方法

提出されたバッグとレポートで審査を行い、各賞を決定する。

優秀賞(若干) 審査員特別賞(若干) 優良賞(参加者全員)

※今年度より、関東甲信越大会、全国大会は開催されません。

入賞作品については、「全国中学生創造ものづくり教育フェア生徒作品コンクール 家庭分野Ⅱ 部門」の群馬県代表作品として推薦される場合があります。

7 費用

参加費なし。材料費は各自負担して製作してください。

8 参加申し込み

別紙申込用紙に必要事項を記載し、**電子メールの添付ファイルにて送信してください。**

※要項や作品申込書データファイル等は群馬県小中学校教育研究会ホームページからダウンロードできます。

送付先 館林市立第三中学校 E-mail chu.daisan@ed-tatebayashi.jp
担当者 教諭 蓼沼佐弥香

申込締め切り 令和8年10月9日(金)

9 その他

○作品票

別紙作品票は、「学校名」「生徒氏名」「作品名」を明記し、作品につけて提出してください。その際、安全ピン等を使用し、外れないようにしっかりとつけてください。

○作品搬入

①10月23日(金)までに各地区担当中学校(下記参照)へ搬入する。

②10月28日(火)に、沼田市立沼田西中学校(審査会場)へ直接搬入する。

③森野教材さんに作品を預け、各地区担当中学校へ届けてもらう。

※①～③いずれかの方法で、コンクール当日までに作品搬入を行ってください。

各地区担当者

【北毛】 沼田 沼田中学校 下飯英樹

【西毛】 高崎 中尾中学校 丸山康弘

【中毛】 前橋 附属中学校 山崎真

【東毛】 太田 尾島中学校 藤本浩一

【東毛】 館林 第三中学校 蓼沼佐弥香

○本競技に関わる諸連絡、質問等の連絡先

〒 374-0035

館林市青柳町1751-78 館林市立第三中学校 教諭 蓼沼佐弥香

電話 0276-72-4061 FAX0276-72-4167

E-mail chu.daisan@ed-tatebayashi.jp